

人権だより

宇和高校人権委員会

作成者：人権委員

2019. 12. 3

◇人権ホームルーム活動について

11月15日に、各クラスの係や人権委員が中心となり、人権ホームルーム活動を行いました。

1年)「差別の現実に学ぶ - アンネのバラから考える -」をテーマに活動しました。

昔から続く民族や宗教、人種間の対立による差別問題が今も改善されず悲惨な結果を生んでいることを知るとともに、個人を尊重し認め合うことが差別解消につながることを学びました。

◆感想◆

- 昔も、現在にも通じていることを自覚する必要があると感じた。
- 自分の意見を言えるようになって、偏見や差別を自分の周りからなくしていきたい。
- 私もアンネのように生きていきたいと思った。



2年)「解放運動の歴史Ⅱ - 解放令と水平社宣言 -」をテーマに活動しました。

水平社宣言を読み取り、当時の人々の思いに触れることで差別がなくならなかった背景を考え、不合理な差別を許してはいけないことを学び、自分に何ができるかを考えました。

◆感想◆

- 過去の出来事と捉えず、風化させないようにしていきたい。
- 人の痛みを知る大切さを改めて学んだ。相手を思いやる気持ちは必要不可欠だと思う。
- 心の底から人を大切にしようと思いました。



3年)「結婚差別の解消」をテーマに活動しました。

結婚差別は、近い将来自分たちが直面する可能性のある人権問題です。何が不合理な差別につながるかを理解するとともに、結婚差別そのものの解消のために何かできるかを考えました。

◆感想◆

- 自分が結婚差別に直面したときに、間違っていることを伝えられるようになりたい。
- 思いやる気持ちがあっこそ、一人前の人になれると感じた。
- 差別を解消するために専用の窓口があることを知った。必要な時には、相談したい。納得してもらうまで説得することが大切だと思う。



◇おわりに

人権を正しく理解し、「差別を許さない」という強い意志を持ち、差別のない社会を実現しましょう！